

「多摩川に恩返し」

多摩川の一斉清掃が平成24年6月3日、川崎市内5会場で行われた。ことしで34回目を迎えた恒例の催しで、川崎市の主催。各地域の町内会や子供会、各種団体160団体1万5千人が作業に汗を流した。

ことしは高津区の新二子橋周辺が中央会場で、午前9時から開会式が行われた。集まった4500人を前に、阿部孝夫市長は「多摩川は市民にとってなくてはならない場所。今後とも美化や水質保全に力を入れていきたいと」とあいさつした。



(多摩川美化運動に参加した川崎西ロータリークラブの面々)

高津区の清掃エリアは東名多摩川橋～第3京浜多摩川橋間の約4キロ。参加者は中間地点にある新二子橋から上流と下流に分かれ作業に当たり、空き缶や吸い殻、ペットボトルなどを拾い集めた。

この多摩川の美化運動の趣旨が、多摩川を利用する人たちに根付いてきたせいか、年々ゴミの量が減少しております。